



「一寸先は 光」

校長 門脇 伸也

例年ない春の温かさの到来により、桜の花が咲き始めました。3月23日の第45回卒業式には卒業生10名（小学部5名、中学部5名）の門出を祝うように満開の花が咲こうとしています。今回の卒業式は、卒業生の保護者と在校生全員の参加、そして、3年ぶりに来賓の方（人数制限をしています）を招いての卒業式となります。新型コロナウイルス感染症の収束とはなりません、感染者数が減る中で世情の急激な変化を静観しながら、卒業式を執り行います。

振り返ると中学部の卒業生は、中学部へ入学したと時に、新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言や分散登校、マスクを毎日つけての生活、大好きな給食も黙食、宿泊行事は2日間の1日校外学習へと変更されていきました。こうした学校生活の中で、児童・生徒に対して、教職員は教育活動をどのように維持していこうかと工夫をせざるを得ない毎日となっていました。

改めて、こうした経緯の中で本校の小学部・中学部の卒業式を実施できますことを心より感謝申し上げます。卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、卒業生の保護者の皆様、お子様の御卒業、おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

さて、回数は少ないながらも卒業式の練習、予行と重ねる中で、校歌を歌う機会も増えていきます。

本校の児童・生徒は、この校歌が大好きです。校歌は、ひまわりの花を題材にして、その歌詞からは子どもたちを愛しむ優しさが、歌う人にも、聞く人にも伝わってきます。校歌のピアノ伴奏や録音された曲が流れ始めると、体育館内の児童・生徒の表情には「まってました」と言わんばかりの、和らいだものが見えます。

校歌の作詞者は、やなせたかしさんです。彼の名前から連想するのは、絵本ですか、それとも童謡ですか。絵本作家、詩人、多才な活動をされていた彼のどんな作品を思い起こすか、世代によって様々だと思いますが、私は彼がどんな生き方をしてきた人なのか知りたくなりました。そして、彼が座右の銘としてきたのが「一寸先は 光」というものでした。「一寸先は闇」という言葉は、耳にしたことはあります。未来のことは、少し先のことでさえ分からないという意味の言葉です。しかし、彼は闇を光と変えて表現しています。

「一寸先は闇といいますが、一寸先は光かもしれない。喜怒哀楽はくりかえすあまり あっさり絶望して あきらめないでください。希望をすててしまつて せっかちに絶望するのはもったいない。」

92歳の彼が東日本大震災で傷つき、大切なものを失ったすべての日本人へ、限らない慈愛と激励を送っていた。といったメッセージにも、この言葉は使われていることを知りました。

卒業式を直前に控え、毎年、卒業式の式辞には卒業生へ向けてはなむけの言葉を贈ります。校長として卒業生への贈り物です。模造紙よりやや大きな紙に、今回は「一寸先は 光」と示し、「未来へ希望を捨ててはいけない」「僕たち、私たちは、コロナ禍でもしっかり3年間をやりきってきたよ」「たいしたもんだ、自信をもって前へ進もう」と、はなむけの言葉として贈りたいと思います。

卒業式には本校の校歌を、マスクをしています、心を込めて全員で歌います。

【追伸】 今年度、最後の給食には、お赤飯がついていました。

手話で「ひまわり」です。心を込めて校歌を歌います。



「中学部遠足」

中学部

2月28日(火)に今年度最後の校外行事である遠足で六本木ヒルズに行ってきました。

午前中は森タワー内にある東京シティビューショップ(52階)でお土産を購入し森美術館(53階)を見学しました。森美術館見学では、それぞれが好きな作品の一つ探して撮影してくるという課題を設定して見学しました。絵画から大きなモニュメントまで興味津々な様子で見学をしている姿が印象的でした。昼食は、森タワーに隣接するグラントハイアット東京内にあるレストラン「THE OAK DOOR」で食事をしました。店内ではジャズが流れ、思い思いの過ごし方でゆっくりとすることができました。学校とは全く違う雰囲気を味わうことができ、中学部最後の校外活動の思い出を作ることができました。



「ハンドサッカー交流会」

小学部

2月25日(土)に、「都肢体連ハンドサッカー交流会」が駒沢オリンピック公園の体育館で開催されました。コロナ感染症の影響で、3年ぶりの開催となりましたが、感染症対策を行いながら交流会という形式で実施することができました。本校は、中学部の生徒3名が1月からレクリエーション部として交流会出場に向けて、都立永福学園との合同チームでハンドサッカーの練習に取り組んできました。

本番当日、学校の体育館とは違った大きな会場の雰囲気や驚きや緊張をみせる生徒もいましたが、チームTシャツに身を包み、試合が始まると、全員が堂々と試合に出場することができました。試合の結果は、練習の成果が実り、都立多摩桜の丘学園に見事勝利することができました。

今後も、部活動の練習や他校との交流を通して、子どもたちの「スポーツを楽しむ心」を育てていきたいと思っています。



研究部より

「今年度の研究を振り返って」

研究部

今年度の校内研究は、全教員がタブレット端末や支援機器などのICTを活用した研究授業を行い、研究授業の事前・事後検討で協議を重ね、授業力の向上を目指しました。校内研究を通して、教員一人ひとりが日頃の間で、児童・生徒に対してタブレット端末や支援機器を意識した関わりをするようになりました。児童・生徒についても支援機器を活用してタブレット端末の操作をしたり、パワーポイントやワードを使って自分の考えを整理したりする児童・生徒が見られました。

また、視線入力装置や支援機器の活用について、講師を招聘して助言をいただくことや、校内でICT教材の展示会を開くことで、ICTの専門性を高めることができました。

今後、児童・生徒の将来を見据え、どのようにICT機器を活用して言語活動を充実させるのか、引き続き各グループの研究実践を元に、発展的に研究を進めていく必要性を感じました。



「進路実習報告会に参加しました」

支援部


2月17日(金)に中学部の生徒が都立永福学園を訪問し「進路実習報告会」に参加した様子を紹介します。

高等部の卒業後の進路選択として「企業などへの就職」「大学などへの進学」「社会福祉施設などへの入所・通所」がありますが、今回の「進路実習報告会」では、都立永福学園高等部2年生が地域の「社会福祉施設」に一定期間通所実習し、そこで行った活動を振り返り、今後の進路決定に向けた抱負を発表しました「大学などへの進学」を希望する生徒からは進学に向けて取り組んでいることなどを報告しました。

新宿養護学校の卒業生のうち3名は社会福祉施設の進路実習や施設見学を、1名は大学進学への取組を発表していました。

身近な先輩の進路実習報告を聞き、中学部3年生は自身の進路を具体的に考えるきっかけになったことと思います。





卒業に寄せての メッセージ

「卒業生の皆さんへ」

小学部

私と皆さんとの思い出を振り返ると、本校に入学したばかりの皆さんの姿を思い出します。まだ身体も小さく抱っこされると大人が両手でしっかり抱き抱えられるほどの皆さんでした。運動の時間にバールンやトランポリン、公園に行ってはブランコや滑り台とたくさん体を動かして遊びましたね。学校生活の中で、毎日、各教科の学習に運動、集会活動や校外活動、運動会やひまわり祭など、たくさんの学びや体験を積み重ねる中で、心も身体も大きく成長した皆さんに、今では頼もしさを感じずにはいられません。皆さんを見つめるとき、そこには常にともに歩んでこられた保護者の方の姿も同時に思い出され、そうした親子での歩む姿から多くのことを学ばせていただきました。どうぞこれからもお元気で、進学先でのご活躍をいつまでも応援しています。

「卒業・進級おめでとうございます！」

小学部

1年生の時、あんなにあどけない笑顔を見せていた6年生の皆さん。不安になって泣いてしまうこともありましたね。今年は児童・生徒会の役員として学校の行事を手伝い、クラスのリーダーとしてクラスを引っ張って行ってくださいましたね。歩くこと、食べることも上手になり、友達が泣いていたら優しく声を掛け、時には友達の行動を諫めるときもありました。この6年間で逞しく、そして頼もしい姿を見せるようになりました。

4月からは楽しみにしている中学生ですね。新しい環境、新しい先生たちにもすぐに慣れて、それぞれ活躍してくれることを期待しています。そして5年生の皆さん。来年はいよいよ6年生です。力を合わせて小学部を引っ張って行ってください。卒業、進級、本当におめでとうございます。

「あのときの2年生に これからのみんなに」

小学部

私が初めて新宿養護学校に来た時、小学部1組の担任となりました。当時、2年生だった皆さんとの日々は、慣れないことに緊張はしつつも、共に楽しく過ごし、共に成長し合える1年でありました。皆さんとの日々から始まったおかげで、今でも教員として頑張っていると思っています。

そんな皆さんもあっという間に最高学年となり、今年卒業だと思ふと時の流れの速さに驚きま。皆さんの成長は、時に同じクラスで、時に同じグループで、時に行事の中で感じとれ、今では立派なお兄さん、お姉さんとなり下級生を引っ張っていくようになりました。これからも、元気に、楽しく、心健やかに過ごしていけることを心から願っています。ご卒業おめでとうございます。

「卒業に寄せて」

中学部

この春、新宿養護学校中学部を巣立ちゆく5人の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、お子さまの成長を見守り育ててこられた保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。この3年間で背が伸びて一段と逞しくなり、様々な経験を通して心も強くしなやかに成長された姿は私たちにとても眩しく映ります。

新たな門出にあたり、これからも様々な良い出会いに恵まれますようにと心から願いながら、さらなる前進を期待しています。日々の積み重ねを大切に、実りある高等部生活でありますように。そして素敵な大人になってください。





「卒業に向けてのメッセージ」

訪問学級

大切な卒業生の皆さんへ、おめでとうございます。この日を迎えることができたのは、多くの努力や挑戦、そして忍耐力があったからこそです。これからの人生で新しいステージに進むこととなりますが、自信をもって前に進んでください。どんな困難や試練があっても、新宿養護学校で学んだことや周りの人々の支援を頼りに乗り越えていきます。そして、大切な人々への感謝の気持ちを忘れずに持ち続けてください。これからも成長し続け、輝かしい未来を歩んでいってください。

心より、お祝い申し上げます。

「卒業に寄せて」

宮園自動車株式会社

卒業、進学おめでとうございます。卒業される6年生の皆さんが入学した時に新宿の担当になりました。中3の皆さんが4年生の時です。あんなに小さかった皆さんが、あっと言う間にお兄さん、お姉さんになり、まだまだ、もっと大きく成長する事でしょう。卒業していった先輩達にも会ったり、見かけたりします。新宿を卒業する生徒さん達とも、またどこかで会ったり、見かけたりするのを楽しみにしています。

「ご卒業おめでとうございます」

養護教諭

小学部5名、中学部5名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

笑顔あふれる日も、頑張ったのにうまくいかず、くやしい思いをした日もあったことでしょう。皆さんが様々な事に真剣に取り組む姿に、新宿養護学校の中はいつもキラキラ・ピカピカと輝いていました。

4月からは、新しい環境での学びが始まります。これまでの輝きは、さらに成長して輝きを増すことでしょう。

勇気をもって、たくさんのことに挑戦してください。ずっと、ずっと、応援しています。

「卒業に寄せて」

東京ケータリング株式会社

この度はご卒業おめでとうございます。皆さんがご両親や先生方に見守られて入学された日のことを今でも覚えています。

そして今、身体も心も大きく成長してこの学校を卒業されることがとても感慨深く感じられます。

一生懸命に給食を食べる皆さんの姿に私たちはいつも元気をもらっていました。今まで本当にありがとうございました。

「卒業・進級おめでとうございます」

用務

小学部6年生のみなさん、中学部3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、在校生のみなさん、進級おめでとうございます。

毎日みなさんの元気・やる気・ひたむきな姿に励まされました。これから、楽しいことや嬉しいことがたくさん待っています。頑張ってください。



ご卒業・ご進級

おめでとうございます

